

第7章 安定した事業運営に向けて

1 投資計画

計画期間内の施設整備の内容は、軌道、電路、車両の整備・更新などであり、計画期間10年間の投資額の合計は約40億円となっています。

【建設改良費の内訳】

(税込単位：百万円)

区 分		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画期間計
建設改良費	軌道費	24	58	186	165		248	142	398	241	263	1,724
	電路費	53			31		16	84	0	272	8	463
	車両費	342	183	251	186	65	267	308	170	30	34	1,837
	機械その他固定資産取得費	1	1	11	18		7	4	4	3	1	52
合 計		420	242	449	400	65	539	538	573	546	306	4,076

※ 平成29年度～令和5年度は決算額，令和6年度は予算額

※ 四捨五入の関係で，計と内訳とは必ずしも一致しません。

○計画期間内の主な施設整備の内容

・軌道費

軌道や安全地帯などの改良工事費です。軌道改良工事や安全地帯改良工事，交差点改良工事などを見込んでいます。

・電路費

架線や電気設備などの改良工事費です。シンプルカテナリー方式への架線張替工事や老朽化した電柱の更新などを見込んでいます。

・車両費

電車車体の購入費や改良工事費です。超低床車の購入と車体改良を見込んでいます。

・機械その他固定資産取得費

工作機械や自動車，パソコンなどの固定資産取得費です。

2 財政計画

区 分		H29	H30	R1	R2
収 益 的 収 支	乗 車 料 金 収 入	1,048	980	986	602
	一 般 会 計 繰 入 金	325	331	331	354
	長 期 前 受 金 戻 入	122	116	91	84
	そ の 他	68	53	50	56
	収 入 計	1,563	1,480	1,458	1,097
	人 件 費	611	618	617	607
	退 職 給 付 費	45	14	18	39
	物 件 費	539	487	488	487
	支 払 利 息	12	11	9	8
	そ の 他	357	353	324	314
	支 出 計	1,565	1,482	1,456	1,455
	損 益	△ 2	△ 2	2	△ 359
資 本 的 収 支	企 業 債	275	239	354	344
	国 庫 補 助 金	78	2	48	22
	一 般 会 計 繰 入 金	59		34	15
	そ の 他				
	収 入 計	413	241	436	381
	建 設 改 良 費	420	242	449	400
	企 業 債 償 還 金	148	152	152	153
	そ の 他				
	支 出 計	568	393	600	552
	資 本 的 収 支 不 足 額	△ 155	△ 152	△ 164	△ 171
補 て ん 財 源		221	196	211	230
当 年 度 財 源 過 不 足 額		64	42	49	△ 300
当 年 度 累 積 財 源 残 額		387	429	478	179
当 年 度 末 企 業 債 残 高		1,844	1,932	2,134	2,326

※ 平成29年度～令和5年度は決算額

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

・乗車料金収入

乗車料金収入については、将来的な資金不足を解消するため、令和7年12月に全区間を40円引き上げたものと仮定して計上しています。

・一般会計繰入金

主に減価償却費や建設改良費などに係る費用についての繰入金を見込んでいます。

・長期前受金戻入

過去に補助金などを財源として取得した固定資産の減価償却時に、減価償却費相当額が収益化されるもので、実際の現金の収入は伴いません。

(税込単位：百万円)

R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画期間計
630	810	921	950	992	1,135	9,056
508	545	361	398	418	428	3,999
72	60	65	65	69	69	814
64	58	68	56	61	61	595
1,274	1,472	1,416	1,470	1,541	1,694	14,464
611	608	609	616	625	640	6,162
73	51	35	38	48	58	419
496	555	556	593	589	589	5,381
7	5	6	8	10	13	88
341	283	299	348	367	411	3,396
1,528	1,502	1,505	1,602	1,639	1,712	15,447
△ 254	△ 30	△ 89	△ 133	△ 98	△ 19	△ 982
65	411	478	412	444	211	3,232
	67	43	89	56	54	459
	49	12	67	42	40	319
65	527	533	568	542	305	4,010
65	539	538	573	546	306	4,076
179	165	179	204	206	221	1,757
244	704	716	776	752	527	5,833
△ 179	△ 177	△ 183	△ 209	△ 209	△ 223	△ 1,822
279	220	236	300	331	282	2,506
△ 154	13	△ 37	△ 42	24	40	△ 299
25	38	1	△ 41	△ 17	23	
2,212	2,457	2,756	2,964	3,202	3,192	

- ・ 物件費

材料費，修繕費，動力費，燃料費，委託料などが含まれています。

- ・ その他支出（収益的支出）

減価償却費，消費税額などが含まれています。

- ・ 企業債

施設整備を行うための財源としての借入金です。

- ・ 建設改良費

投資計画に基づいて計上しています。

- ・ 補てん財源

主に減価償却費などの現金支出を伴わない費用などです。

3 経営の見通し

輸送の安全の確保と将来にわたる事業の安定的な運営のため、車両および軌道の改良事業費を増額することから、企業債残高は平成29年度の約19億円から令和8年度には約32億円に増加する見通しです。

当年度累積財源については、令和7年12月に乗車料金の見直しを実施した場合、単年度収支の改善が図られ、令和8年度末において累積財源残額は、約2千万円となる見込みであり、当面は安定した経営を維持することができるものと考えております。

